

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1891700104 | | |
| 法人名 | 医療法人 慈風会 | | |
| 事業所名 | 認知症対応型共同生活介護 グループホームみやざき | | |
| 所在地 | 福井県坂井市三国町北本町2-2-6 | | |
| 自己評価作成日 | 令和 2年 10月 13日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/18/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 福井県福井市光陽2丁目3番22号 |
| 訪問調査日 | 令和 2年 11月 4日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が病院であり、その中にある施設として24時間緊急時の対応も連携が取れており、医療の提供も出来る事によって御本人・御家族にも安心して生活して頂ける。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は母体である病院と同じ建物の2階に、デイケア・デイサービスセンターと併設している。1階の病院外来待合室に、事業所のコーナーを設けて利用者と職員と一緒に作った作品を季節ごとに置いている。職員は自分たちで作った事業所の理念を大切に、家庭的な雰囲気の中、毎日たくさんの利用者の笑顔が見れるよう実践している。食事は、病院の厨房で最新の調理システムにより、温かいものは温かく、冷たい物は冷たく、おいしく食べられる温度で提供している。月1回は、事業所内で調理をして、食事の家庭的な雰囲気、季節感を大切にしている。利用者の希望で出前を取ったり、新型コロナウイルス感染予防のため、外食の代わりにテイクアウトを利用している。また、喫茶コーナーを設けるなど楽しみながら暮らせるよう支援を行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所独自の理念をホーム内に掲示しており職員が共有認識のもと実践に努めています。 | 法人理念を基に事業所の職員で話し合い、独自の理念を作成している。その理念に基づく基本方針を立て職員が実践している。理念と基本方針は掲示してある。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の交流の情報なども頂き参加する事で交流を行っています。 | 事業所の啓蒙を兼ねて、病院外来にコーナーを設けて季節ごとに作品を展示している。祭りへの参加、職場体験、実習生の受け入れ等は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施していない。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の交流に参加する事で、認知症への理解もして頂けるように心掛けています。 | / | / |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2カ月ごとの開催にて利用者様の現状や取り組みなどの報告・ご意見を頂きサービスの反映に努めています。 | 家族代表、民生委員、広域連合、地域包括支援センター等のメンバーが参加して意見を交換している。現在は開催しておらず、新型コロナウイルス感染状況をみて12月に開催を予定している。会議で報告、検討する内容はメンバーに送付している。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 疑問はその都度電話で問い合わせ、会議等で地域包括の方に相談しています。 | 日頃はケアマネジャーを通じて連絡を取るが、問題があったときは電話で直接連絡できる関係になっている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はしてませんが、常に見守りを重視しています。日中は入り口にセンサーがあり人の出入りがあるとチャイムがなります。夜間に限り入り口を施錠しています。 | 母体法人が毎月開催している安全委員会で話し合い、意識して身体拘束をしないケアを実践している。気付いたことは申し送りノートに記入している。職員間で共有できるようにスタッフ会議で話し合っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止の知識をもとに虐待のない介護に努めています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 現在対象者はいないが、成年後見人制度の理解に努め、必要な時には関係者とも連携を取りながら活用出来るように対応していきたいです。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には、ご本人・ご家族との話し合いにて、不安なく納得して頂けるよう説明を行っています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 病院全体での意見箱は設置している。ご家族からの意見や要望は面会時にお聞きしておりその都度運営に反映させています。 | 家族の意向を直接聞けるよう、毎月の文書を手渡しにしている。以前アンケート調査を実施していたが、回答に変化がなかった。アンケートの目的を検討し意見要望を出しやすいアンケート用紙の作成を考えている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月スタッフ会議を開催しており、職員の意見や提案を聞き運営に反映させる様努めています。 | 職員の思いや気づきは、申し送りノートに記載し、月1回スタッフ会議で思ったことを発言できている。意見は運営に反映している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々のスキルアップを促し、外部研修への参加の機会を持てるようにしています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修や行事への参加を促し、技術向上に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との交流の機会が少なく、相互の訪問なども今後の課題です。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 契約時には、御本人・御家族の不安や要望など十分に聞かせて頂き、ご本人・御家族にも安心して頂ける様なサービスの提供に努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 契約時や見学時にはご家族の不安な思いを聞き安心できるような良い関係作りに努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 当施設での対応が困難な状況になった場合はご家族との話し合いと理解を得たうえでサービスの対応に努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々に応じた関係を築きながら、一緒に暮らす者同士として、支えあえる様努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 御家族には現状を伝える事により、日頃の様子を知って頂き一緒にご本人を支えていけるような関係を心掛けています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 近くのスーパーや美容室など馴染みの場所や顔見知りの方との縁が途切れないよう努めています。 | センター方式を利用して本人、家族から情報収集している。馴染みの関係が途切れないよう手紙、電話のやり取りの支援をしている。コロナ禍が落ち着いたときに、しばらくでも面会できるように工夫して対応している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々の性格を見極め、利用者同士が共有できる事などを見つけ提案し支援に努めています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了し併設の病院への入院となることもあり、面会時に会うご家族との関係も引き続き大切にしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日頃ご本人との会話や、ご家族からの情報をもとに思いを反映させるようなサービスの提供を心掛けています。 | 一人ひとりが意見を言えるように、タイミングを見計らって働きかけている。自分で意思表示できない利用者には、何をしてほしいか、しぐさ等から汲み取って接している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 日頃の支援の中でこれまでの暮らし方、環境などを聞き取り、家族からの情報も収集し今後のサービスに繋げたい。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の観察、バイタルにて状態の把握、日々の関りの中で職員全体が周知できる様、記録申し送りにて現状把握に努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人・ご家族、関係者等のカンファレンスで得た意見を反映させた介護計画の作成を行っています。 | ケアマネジャーと担当職員が話し合っって計画を作成し、さらにケア目標を3つに絞り込んでチェックシートを作成している。目標に沿って実施しているか毎日チェックし、月毎に評価して計画見直しにつなげている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録の記入を行い、常に職員間で情報を共有し実践状況についても話し合い介護計画の見直しに活かしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人の希望に応じた対応を常に心掛けており、その時々生じるニーズにも柔軟に対応しています。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 病院内にある事で、医療面での精神的な安心も得られ、作業なども行い日々の暮らしも楽しんでいる。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 当院との24時間医療連携を取っており、本人・ご家族の希望もあり、往診など適切な医療が受けられるよう支援しています。 | 母体の病院と連携して、2週に1回往診を受けている。3~4か月に1度定期検査を受けている。入所時に希望はとるが、受診より往診を選ぶ利用者がほとんどである。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師には日々の状態を常に伝えており、利用者様の異常や苦痛の訴えにも適切な看護が受けられるよう支援しています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 日頃より外来看護師との連絡も密にしており、利用者様が安心して治療が受けられるよう看護師を通じて医師との関係作りをしています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化や終末期については入所時にも説明し、ご家族の意向も聞かせて頂き必要に応じてご家族・主治医他関係者との話し合いを持ち支援に取り組んでいます。 | 入所時と、状態の変化に応じて説明をして家族の意向を確認し、本人・家族の意向に応じて支援している。母体が病院で同じ建物の中にあるため、状態が急変しても医療と連携して、対応できる体制になっている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急対応マニュアルを作成し、実践力を身に付けるようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 併設の病院と共に消防署の指導の下、避難訓練を行っています。災害時には消防署の全面的な協力体制を築いています。 | 消防署立ち合いで夜間を想定した避難訓練を実施しているが、今年の実施できていない。グループラインで連絡網はできている。避難場所は近所の神社になっている。 | 訓練に地区の消防団や地区代表に参加してもらうことで、日ごろからのつながり、結びつきが強化され、地域住民が協力しやすい体制がとれることを期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々に応じた声掛けにも注意し、入浴や排泄の際のプライバシーにも配慮し対応している。 | 法人の計画に沿って研修を受講している。今年には内部研修とウェブ研修を受けて、レポートを提出している。入浴・排泄の介助には、プライバシー保護に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人の希望を尊重し、自己決定に結び付ける。表情やしぐさなどから思いをくみ取るよう努力しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個人の希望を尊重し、本人のペースで日々を過ごして頂けるよう支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 散髪は近くの美容室へ出かけていきます。本人の好みを優先し支援しています。入浴時の着替えの用意は本人と相談しながら決めています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 通常は病院食を提供していることもあり、好みのメニューとはいかないが、月一回の手作り食や外食なども計画し職員と共に時間を楽しんでいます。また、食事の準備や後片付けも行っています。 | 病院の調理システムで、利用者の状態に合わせた食事を提供している。家庭的な雰囲気の中で調理する機会として月に1～2回事業所で、季節の煮物、つけもの、炊き込みご飯などを作っている。出前を取ったり、喫茶コーナーを設けて、食に楽しみを持てるよう工夫している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量、水分量は毎日記録しています。水分の摂取には特に配慮しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後には個々の力に応じた口腔ケアの支援を行っています。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄は出来るだけトイレで行える様支援し個々の排泄パターンを見極め、声掛け誘導を行っています。 | 状態に合わせて紙パンツ・おむつを使用している利用者もいる。なるべく布のパンツ着用を継続していけるよう排泄のタイミングを把握し、さり気ない誘導で、自立支援を行っている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 1人1人の便秘の原因を追究し、運動や水分摂取を促し、便秘薬なども取り入れています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 個浴の対応となっておりますが、全員が介助もしくは見守りを必要としているので、入浴時間は決めず、その日のタイミングで対応しています。 | 個浴での入浴が継続できるよう立位保持訓練をしている。安全・安心のうえ楽しんで入浴できるよう個別で対応している。週2回午前・午後利用者の希望するタイミングに合わせて入浴できるよう支援している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中は個々の居室や共有スペースで自由に過ごして頂き、夜間は居室の温度調整に気を配りながら気持ちよく眠れるよう支援しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人個人の薬のリストはファイルに綴っており、全職員が確認できるようにしている。服薬の支援と症状の変化についても注意して観察しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の生きがいや趣味などを楽しんだり希望に沿った気分転換にも対応できるように支援します。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 外出の希望があれば思いに添って支援しています。職員からの声掛けも行い気分転換にも取り組んでいます。 | コロナ禍で散歩などに気軽に外出できない状態であるため、ドライブに出たり、DVDで風景など録画したのを見て気分転換している。ドライブに出た時には買い物も楽しんでいる。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己管理の出来る方ではありません。必要時にはご家族と相談し預かっている方もいます。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 遠方のご家族への電話や手紙など、希望される方にはその都度対応しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有の空間では利用者様の作品を展示しており、ソファでくつろいだり出来るよう工夫しています。 | 共有のスペースにはソファ・椅子・テーブルを配置し、ゆったり過ごせるようにしている。季節感を感じられるように花を生けたり、壁に作品を飾っている。写真、職員からの話で確認した。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | テーブル席も気の合った同志の工夫をしています。共有の空間にはソファを置き自由にDVDやカラオケを楽しんでいます。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自分の使っていた物を持ってこられたり、写真や好きな音楽をかけたりとご家族とも相談して心地よく過ごせるよう工夫しています。 | ベッド、筆筒、テレビ、椅子が各部屋に備え付けてある。利用者の好みに合わせて室内を飾り付けたり思い出のものを置いて居心地よく過ごせるようになっている。写真、職員からの話で確認した。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 見守りの中、個々の出来る事は分担して安全に作業が出来るよう努めています。 | | |